

# フードロスをなくそう～八王子市でできること～

## Stop food waste - What we can do in Hachioji City

グループ名：半田ゼミ A

学生氏名：奥富里菜, 君嶋千弥, 佐々木あいり, 原崎興太, 本田拓磨

指導教員 半田英俊

杏林大学 総合政策学部 総合政策学科 半田研究室

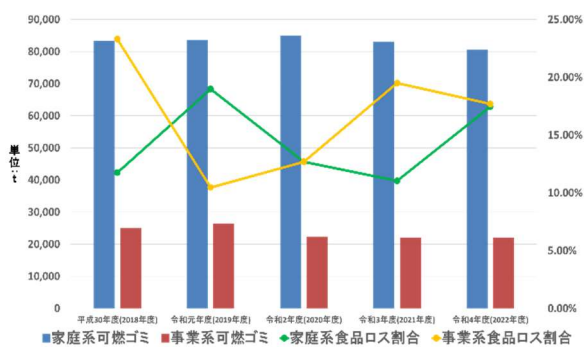
近年、八王子市で横ばいになっている食品ロス削減の現状について把握・分析を行い、頭打ちとなっているフードロス削減の推進に向けて提案を行うことが本研究の趣旨となる。具体的には、八王子市民にアンケートを実施し、フードドライブの利用率向上を目指すための2つの提案を行いたい。

キーワード：フードロス, フードバンク, SDGs

### 1. 八王子市のフードロス問題の現状

現在、日本のフードロス量は 2022 年の統計で、年間、約 523 万トンに達しており、SDGs の観点からも、フードロス削減に向けた様々な取り組みが進められている。

八王子市役所から提供して頂いたデータによると、2018 年度から 2022 年度にかけての家庭系可燃ごみは、83,295 トンから 80,501 トンへと減少傾向にあるが、上記可燃ごみに占める家庭系フードロス量の割合は 11%~18%と、必ずしも減少傾向にあるとは言えない。



また、同市のホームページに掲載されている『食品ロス削減のためにできること』では、フードバンクへの食品提供などの具体的な方法が紹介されているが、この情報提供も、後述するアンケート結果から、十分に生かされているとは言いがたい現状

があると考えられる。

そこで、八王子市で行われているフードバンクの活動に焦点を置き、フードロス問題の改善法の1つとしてフードドライブの利用率向上を目指していくための定愛を行いたい。

### 2. 八王子市で行われている活動

八王子市では、現在、八王子市役所や様々な団体がフードロス削減に向けて活動を行っている。

私たちは、今回、フードバンク活動を行っている「一般社団法人フードバンク八王子」、「特定非営利活動法人 Foodbank Tama」、「特定非営利活動法人フードバンク八王子えがお」の、3 団体に着目して研究を行った。

この3 団体は八王子市を拠点とするフードバンクとしてロス削減に携わっているにも関わらず、こちらもアンケート結果から、市内での利用率は伸び悩んでいる。では、なぜ利用率が伸び悩んでいるのか、次項で仮説を立てた。

### 3. 仮説

私たちは、フードドライブの場所が分かりにくいのではないかと第1の仮説を立て、スーパーに置いてあるフードドライブの回収場所を調査

した。その結果、駅周辺 5 店舗のスーパーでサービスカウンターの奥にフードドライブがあるなど、分かりづらい場所に設置されている事が分かった。

そこで、私たちは八王子市在住の方々も同じことを感じているのではないかと考え、フードドライブの回収場所をわかりやすいところに設置すれば、利用率が上がるのではないかとという第 2 の仮説を立てた。

#### 4. アンケートの実施と結果

実際に八王子市在住の方々へのアンケートを実施するため、八王子市役所に相談させていただいたところ、5月19日に行われた「2024 健康フェスタ・食育フェスタ」に、ごみ減量対策課の方々に参加させていただき、309 名の方にご回答いただいた。

まず、「フードバンクを知っているか」という質問では、約 75%の方が「知っている」と回答した一方、次に、フードバンクに「提供したことがある」と答えた人の割合は、家庭系食品で全回答の 24%、事業系食品では全回答の 4%との回答となり、実際に提供している市民は少数であった。

また、提供したことがない方に提供を行っていない理由を聞いたところ、1 位が「提供する食品がない」、2 位に「提供方法が分からない」、3 位に「提供場所が分からない」という結果となった。

#### 5. 提案

以上の事柄から 2 つの提案を行なう。

##### ・フードバンク団体の合同イベントの実施

3 つのフードバンク団体が合同で新たな取り組みとしてイベントを行うことで、フードバンク活動の認知度向上と活性化を図る。また、高齢者へのアプローチとして、インターネットを利用しない層に対しては、現地イベントが有効であることが「2024 健康フェスタ・食育フェスタ」での経験から推測され、このようなイベントを通じて高齢者へ働きかけることができると考える。

##### ・オリジナルポスター作成

フードドライブの場所を明確にし、誰もが簡単に確認できるポスターを作成する。内容として近

隣のフードドライブの場所を確認できる QR コードの記載を考えた。ポスターはスーパーやバスの広告板に掲示し、スーパーのフロアマップにもフードドライブの位置を掲載することを提案する。

さらに、これらの情報をホームページにも掲載し、いつでもフードドライブの場所を確認できるようにする。

#### 7. 結論

以上のことから、より一層、八王子市のフードロス削減を進めるためには、フードバンクの認知度を高めてバンク利用を促進することが必要であると考えられる。そのために、フードバンク団体による合同イベントの実施やポスター掲示を通じて、八王子市民の利用率向上を図り、フードバンクをより身近で当たり前の存在にすることが重要である。私たちの提案が、市内のフードロス問題改善の一助となることを願っている。

#### 【参考文献】

環境省「我が国の食品ロスの発生量の推計値(令和 4 年度)の公表について」

([https://www.env.go.jp/press/press\\_03332.html](https://www.env.go.jp/press/press_03332.html))

八王子市「資源循環白書(旧清掃事業概要)」  
(<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurasahi/gomi/keikakudata/data/p002562.html>)

八王子市「食品ロス削減のためにできること」  
(<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurasahi/gomi/001/torikumi/shokuhinloss/p025167.html>)

一般社団法人フードバンク八王子  
(<https://www.foodbank8.tokyo/>)

特定非営利活動法人 Foodbank Tama  
(<https://foodbank-tama.com/gaiyo/action/>)

特定非営利活動法人フードバンク八王子えがお  
(<https://www.fb8egao.com/>)

八王子市「2024 健康フェスタ・食育フェスタ」  
(<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurasahi/hoken/007/0007963/aq005/p034580.html>)